



LIXIL 把手セット(S型プッシュグリップ) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

※商品により、シリンダー形状、オーナーキーの有無は異なる場合があります。

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

■把手セット

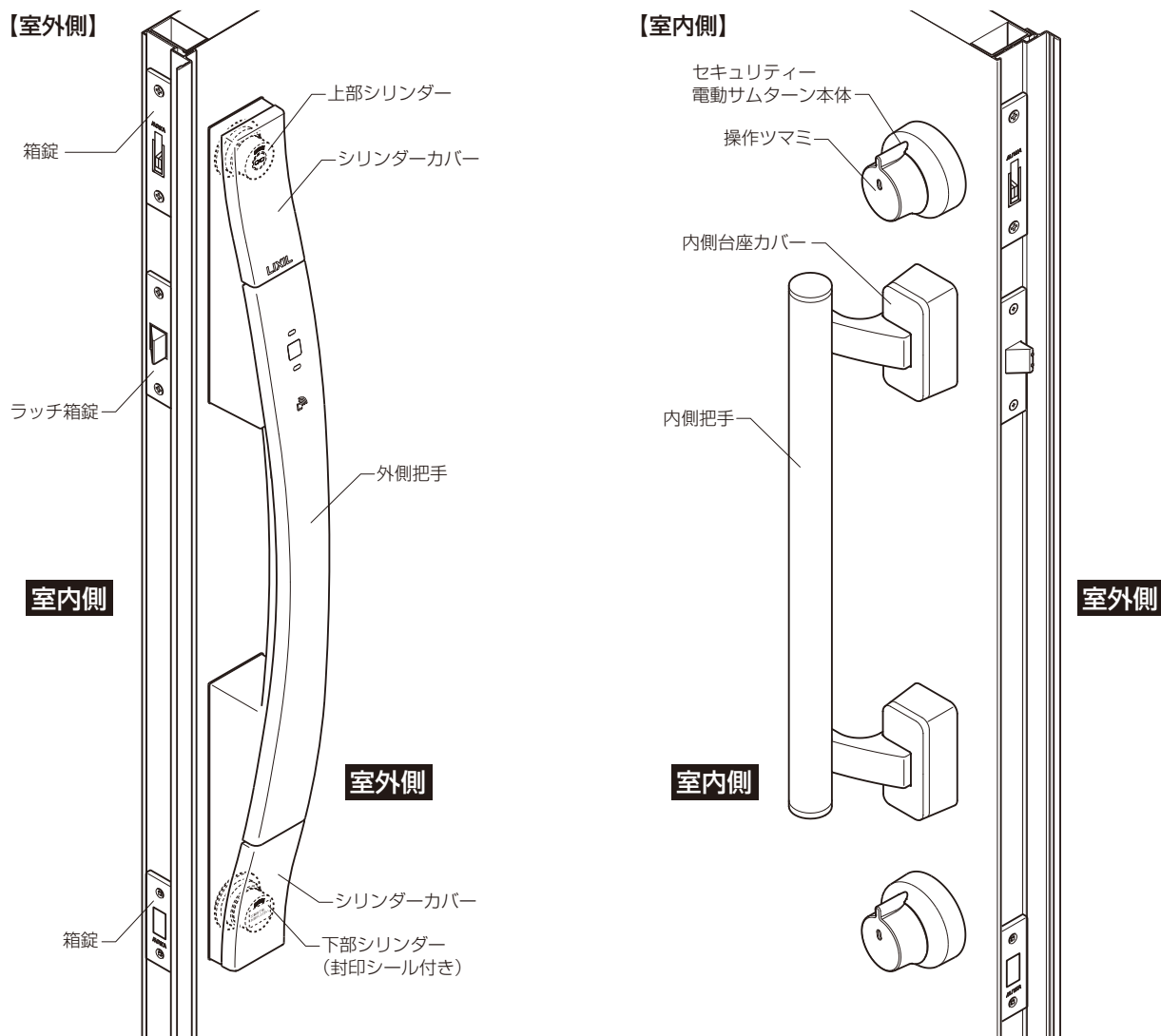
名称	入数	詳細
外側把手	1 個	※シリンダーカバー(上下)、電気錠リーダーが組み済みです。
内側把手	1 個	—
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー/2個、皿小ねじM5×25/4本
箱錠セット	1セット	箱錠/2個、ラッチ箱錠/1個、皿小ねじM4×16/6本(鋼板ドア用)、皿タッピンねじφ4×12/6本(アルミドア用)
ストライク・トロコケセット	1セット	ロック受けストライク/2個、ロック受けトロコケ/2個、ラッチ受けストライク/2個、ラッチ受けトロコケ/1個、皿小ねじM4×16/6本
取付け説明書	1 枚	—
お施主さま用取扱い説明書	1 冊	袋入り

■別途手配品

名称	入数	詳細
シリンダーセット	1セット	シリンダー/2個、オーナーキー/1本、子鍵/4本、工事用キー(コンストラクションキー)/3本
電動サムターンセット※1	1セット	セキュリティー電動サムターン本体/2個、取付け金具/2個、サムターンカバー/2個、操作ツマミ/2個、皿小ねじM5×40/4本

※1 電動サムターンセットは別途手配のエントリーセット内に同梱されています。ドア厚60mm用の場合、皿小ねじの長さがM5×60になります。

■取付け完成図

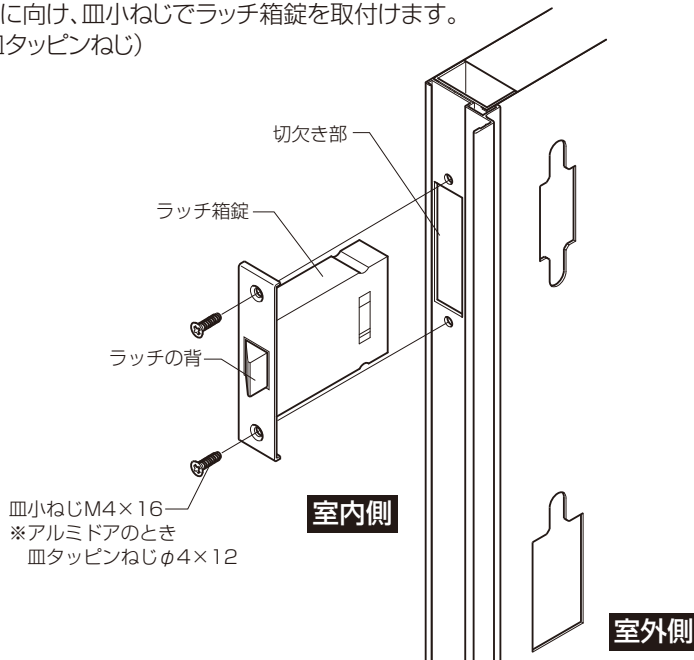


※把手のデザインは一例です。他のデザインも取付け方は同様です。

■取付け順序

1 ラッチ箱錠の取付け

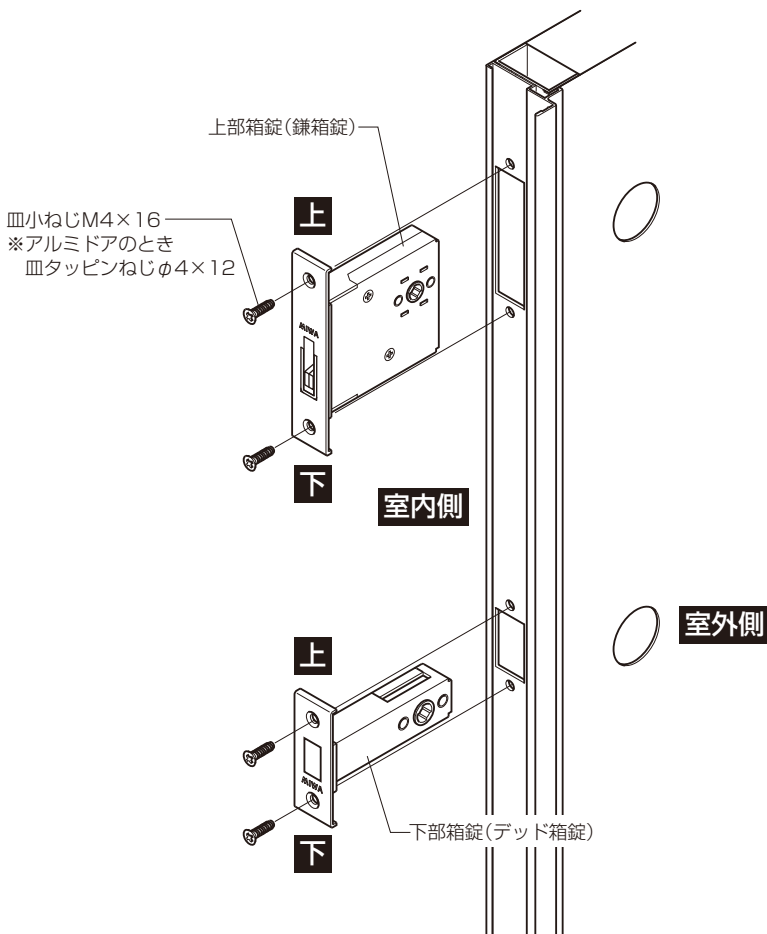
- ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじでラッチ箱錠を取付けます。
(アルミドアのとき皿タッピンねじ)



2 箱錠の取付け

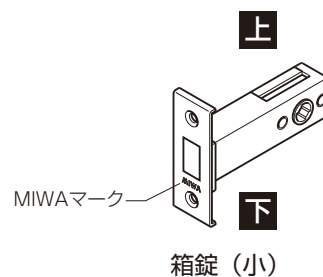
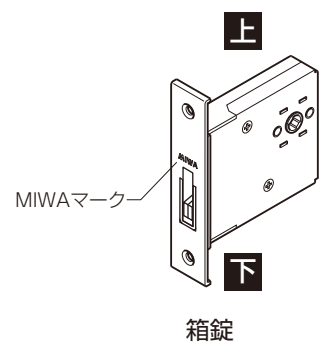
※商品により箱錠が異なります。(デッド箱錠または鎌箱錠) 下の参考図は、上部が鎌箱錠、下部がデッド箱錠です。

- ①ドア上部の切欠き部に上部箱錠、ドア下部の切欠き部に下部箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タッピンねじ)で、取付けます。
- ※「MIWAマーク」の位置で上下を確認して取付けてください。(下図「箱錠の取付け向き」参照)



■箱錠の取付け向き

※MIWAマークの位置で、上下を確認して取付けてください。

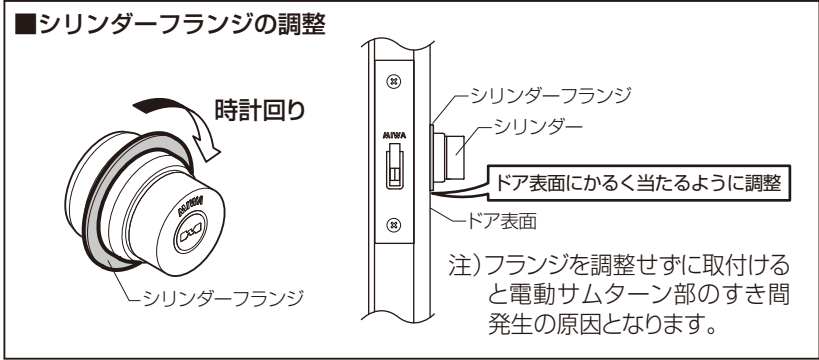
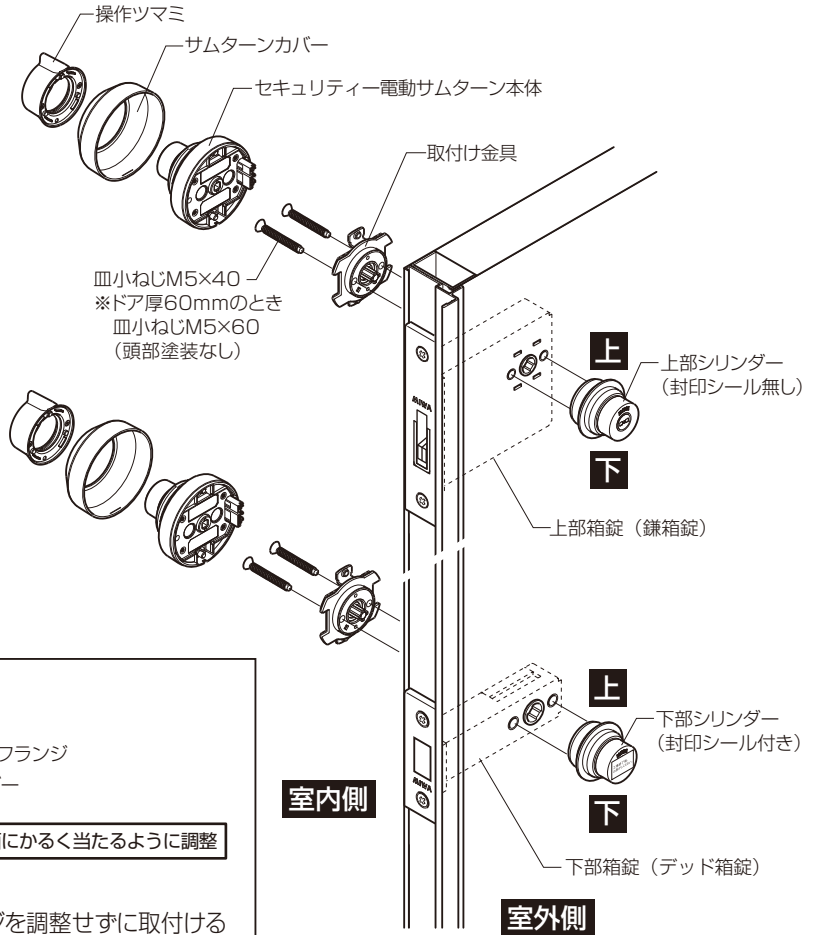


3 上部シリンダー、サムターンの取付け

- ① 上部シリンダー(封印シール無し)のMIWAマークを上に向けます。
- ② シリンダー背面の出っ張り(4カ所)を、上部箱錠の角穴に合わせて差込みます。
- ③ シリンダーを押さえながら、シリンダーフランジをドア表面に当たるまで回して(時計回り)調整してください。
- ④ エントリーセットに同梱の取付け説明書をご参照の上、電動サムターンを取付けてください。

4 下部シリンダー、サムターンの取付け

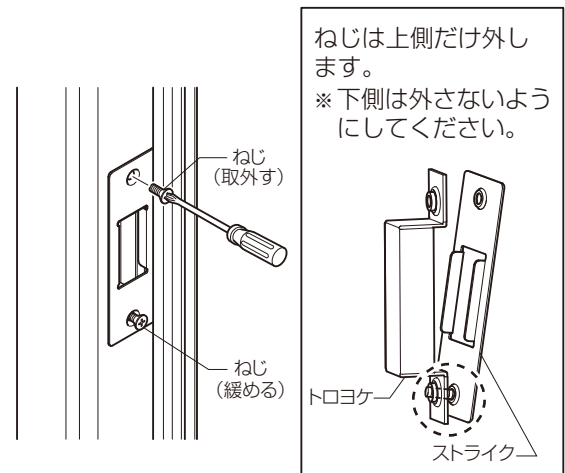
- ① 下部シリンダー(封印シール付き)のMIWAマークを上に向けます。(封印シール文字が読めるように上に向けます。)
- ② シリンダー背面の出っ張り(4カ所)を、下部箱錠の角穴に合わせて差込みます。
- ③ シリンダーを押さえながら、シリンダーフランジをドア表面に当たるまで回して(時計回り)調整してください。
- ④ エントリーセットに同梱の取付け説明書をご参照の上、電動サムターンを取付けてください。



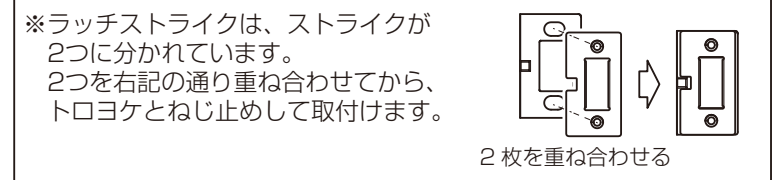
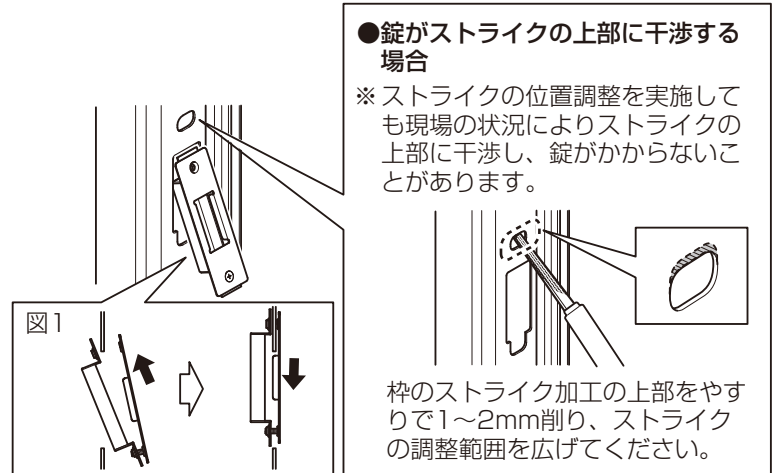
5 ストライク・トロヨケの取外しと取付け

同梱されているストライク・トロヨケに交換します。

- ① 既存枠のストライク・トロヨケを取外します。
ねじは上側だけ外して下側は緩め、ストライク・トロヨケを上方向にスライド(ケンドン)して取外します。
トロヨケの脱落に注意してください。

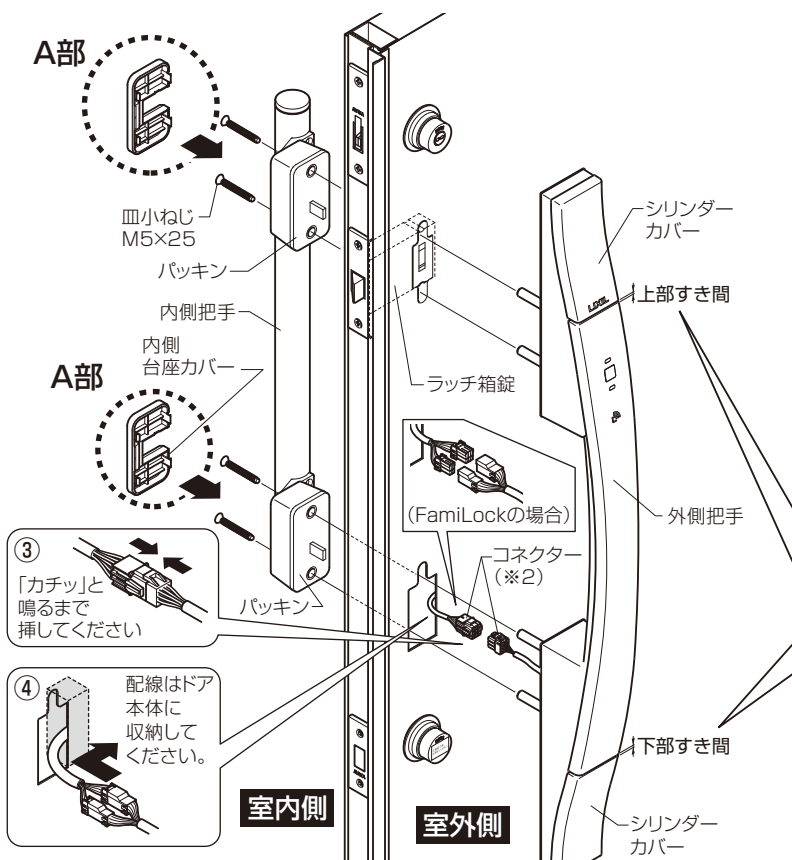


- ② 新しいストライク・トロヨケを取付けます。ストライク・トロヨケの下側だけをねじ止めて、上方向にスライド(ケンドン)して取付けます。(図1参照)
※トロヨケの脱落に注意してください。



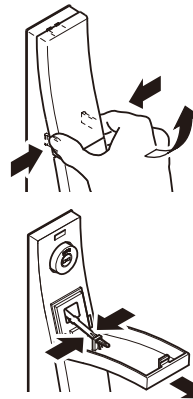
6 コネクターの接続と把手の取付け

- ①ドア本体の把手取付け加工(下部)からコネクターを引き出します。
- ②外側把手のコネクターが出ている側を下に向けます。
- ③コネクターを接続します。
- ④外側把手を室外側から差込みます。(落下防止のため、⑤で固定するまで手を離さないでください。
このとき、余った配線はドア本体内に収納し、把手の取付け時に配線を挟み込まないように十分注意してください。)
- ⑤内側把手を皿小ねじで固定します。パッキンにズレ・ヨレがある場合は補正してから取付けてください。
このとき、右図に従い、外側把手の角度・すき間を調整しながら固定してください。(スムーズなラッチ解除動作を実現するため、把手取付け部には上下左右に若干の遊びをもたせてあります。)
- ⑥内側台座カバーを台座に取付けます。



※2 図はタッチキー/システムキー用(9ピン)です。
カザスプラスの場合、12ピンコネクターとなります。

■シリンダーカバーの付け方・外し方

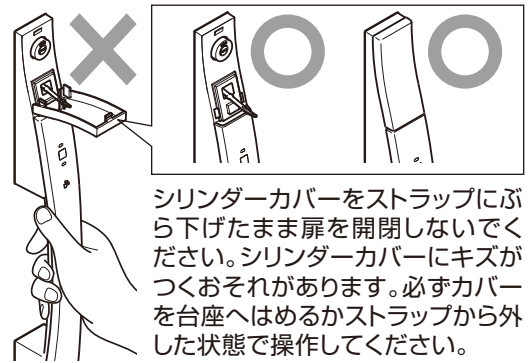


シリンダーカバーの下部(グリップに近い部分)を軽くつまんで引っ張ると外れます。シリンダーカバーを取付ける場合は、上部(グリップに遠い部分)のツメを先に挿入してください。無理にはめ込むとツメが破損するおそれがあります。

ストラップの側面を押しながらかき抜いてください。

※上シリンダーカバーは、内側台座カバーと同じ場所に入っています。

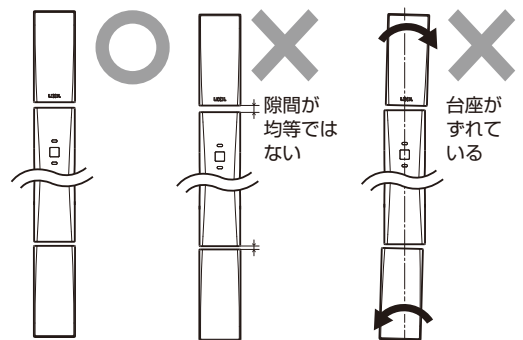
■把手操作時のお願い



シリンダーカバーをストラップにぶら下げたまま扉を開閉しないでください。シリンダーカバーにキズがつくおそれがあります。必ずカバーを台座へはめるかストラップから外した状態で操作してください。

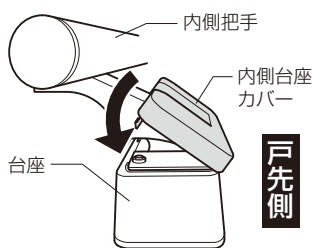
■外側把手の角度、すき間について

ずれている場合は、室内側から固定している皿小ねじを緩め、調整してから締め直してください。



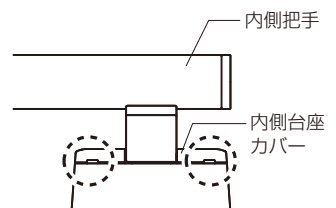
■内側台座カバーの取付け方 (A部詳細図)

戸先側のツメを差し込んでからはめこみます。



■内側台座カバーの外し方

取付けと逆の手順で溝の部分から持ち上げるように外してください。片側だけを引っ張るとカバーが破損する可能性があります。外しにくい場合はマイナスドライバーなどを溝に入れて傷がつかないように外してください。



■コンストラクション装置について

- 封印シールが貼られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
- 封印シールが貼られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。

